



三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2023-24 クラブテーマ **気づき、ひらめき、ひろげよう**



2023. 10. 16

米山月間

No.2466

No.12



会長挨拶

三条南ロータリークラブ
会 長

熊倉 高志

本日は、三条 RC より R I 2560 地区米山記念奨学委員の石黒様、ようこそいらっしゃいました。また、米山奨学生のナンさん、卓話よろしくお願いします。

今日はピカソとキュビズムのはなしをしたいと思います。学校で美術の時間にはじめて遭遇したピカソの“泣く女”は何かいいのか全く分かりませんでした。皆さんはキュビズムという言葉をご存じですか。このことがピカソの絵の意味を明確にしてくれます。

絵画は縦横の平面に描く 2 次元の芸術です。西洋絵画は宗教画からルネサンスを経て、写実主義といわれる、わかりやすく言うと見たままの絵画から、より新しい表現を求めて、睡蓮の絵で有名なモネの印象主義といった流れで 19 世紀まで来ていました。そこに目に映る色でなく、心が感じる色を使ったフォービズム、野獣という意味の派手な色彩を使った派閥が出現し、その次に台頭してきたのが、それまでの遠近法を無視し、複数の視点から見た正面だけでなく裏面といった部分も表現しようとしたキュビズムです。キューブ即ち立体派ともいわれるピカソらを中心に一線を画した派閥です。この辺の説明もなく、泣く女やアビニヨンの娘たちを見せられるとチンプンカンプンとなるわけです。絵画を含めて、芸術には正解・不正解、良い悪いはありません。その時代のはやりすたりをふくめて、個人的にもいいなと思った絵を飾ることが原点と思います。

3次元の彫刻の世界でも写実主義の流れはありました。学生時代に上野の美術館で見た、ある彫刻家の作品展で新鮮な感覚を覚えたことを思い出します。そのヘンリー・ムーアという彫刻家はこの立体次元（ボリューム）に空隙つまり、くり抜きを与えた表現を用いたのです。

更に、ここで欧米の彼らに大きな影響を与えた日本文化の浮世絵についても、語る必要があるように思います。葛飾北斎のことは皆さん、ご存じだと思います。大波の瞬間をカメラでとらえたような、富嶽三十六景神奈川沖浪裏や多くの富士山の版画です。これら浮世絵版画はその奇抜で美しい画面構成が海を渡って、多くの欧米人を虜にし、モネやゴッホらの絵画表現にも大きな影響を与えたのでした。



「泣く女」ピカソ作



「横たわる像」ムーア作

◆本日の出席：41 名中 26 名

◆本年度通算出席率：81.56%

◆本日のお客様：R I 第 2560 地区米山記念奨学委員会
寄付増進委員会 石黒良行さん（三条 RC）
米山記念奨学生ファンティチュナンさん（ベトナム）

◆先週までのメイクアップ：

▷10/7 米山セミナー（ホテルイタリア軒）熊倉高志君
▷10/9 赤い羽根街頭募金活動（イオン三条店）坪井康紀君
▷10/10 三条北 RC へ荒澤威彦君▷10/11 地区ゴルフ大会（湯田上 CC）永桶俊一君、木村譲君、布施純也君、中村靖君、峰嶋由紀子さん、関博市君▷10/12 地区ゴルフ大会手伝い（湯田上 CC）木村譲君、吉沢栄一君、田中康之君、中村靖君▷10/14 R I 2560 地区財団ミーティング（万代シルバーホテル）木村譲君

◆幹事報告 吉沢栄一幹事

▶【R I 第 2560 地区米山記念奨学生学友会総会】開催のご案内▷日程 2023 年 11 月 11 日（土）▷会場ホテルオークラ新潟 4F コンチネンタル▷1530～1600 受付▷1600～1630 総会▷1630～1830 懇話会▷太田義人米山奨学生カウンセラー、ナンさんが出席



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長 ゴードン R. マッキナリー（スコットランド）
第 2560 地区ガバナー 米山 忠俊（三条北）
第 4 分区分ガバナー補佐 小出 和子（三条東）
会 長 熊倉 高志
幹 事 吉沢 栄一
SAA 田中 康之

事務局
〒955-8666 三条市町 2-5-10
三条信用金庫本店内
TEL 0256-35-3477
FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL https://www.sanjo-minami.jp

ニコニコボックス

10/16 12000円 本年度累計 195000円

石黒君（三条）「日頃より米山事業にご理解ご協力をいただき感謝申し上げます」

熊倉会長「米山委員の石黒様、ようこそいらっしゃいました。ナンさん、卓話楽しみにしてます」

吉沢幹事「地区役員の石黒さん、ようこそいらっしゃいました。本日はよろしくお願い致します」

野崎君、田代君、布施君「地区米山記念奨学委員会委員の石黒さん、本日はよろしくお願いします」

坂井君、銅冶君、田中君、加藤君、石山君
「BOXに協力します」

木村君「11~12日の地区ゴルフ大会にご参加・ご協力いただきありがとうございました。また、22日は南クラブのゴルフコンペにご参加いただきありがとうございます。天気が心配ですが楽しいゴルフにしたいと思います。BOXにご協力ありがとうございました」

ようこそ！南RCへ



国際ロータリー第2560地区
米山記念奨学委員会
寄付増進委員
石黒 良行 様（三条RC）

「米山奨学生のナンさんの受入れに感謝いたします。
今後とも、米山の事業にご理解ご協力をお願いします」

米山記念奨学生卓話



ファンティ チュ ナンさん
（ベトナム）

簡単にもう一度自己紹介したいと思います。

私はベトナムのホーチミン市から参りました。長岡技術科学大学で物質材料工学を勉強していて博士2年生です。趣味は山登りなど課外活動とボランティア活動に参加することです。

今年の4月からロータリー米山記念奨学生になって、三条南RCを世話クラブに配属させていただきました。私の日本語がまだまだで、皆さんに大変ご迷惑をかけましたが、みなさんと出会うことができて本当に人生の忘れられないことだと思います。特には太田さんと宮口さんに大変お世話になりました。

今年の4月から今日までは例会と交流だけではなく、長谷川さんの招待で会社の見学をしに行きました。その経験を通じて、日本企業とビジネスについての知識をいっぱい身につけることができました。皆さんの会社はベトナムにいろいろな案件をやっていると教えて貰いて、私はすごく嬉しいと感じていました。

今日はベトナムと日本の文化的な交流とその多様性について発表したいと思います。

私は留学する目的は、技術の勉強だけではなく、日本の文化を深く理解したい気持ちがあります。日本での学びと生活の過程で、

いい体験が得られました。私は、日本とベトナムの文化を結びつけ、ベトナムと日本のブリッジ人材になりたいです。そのため、この機会を通じて、私の個人的な視点から、ベトナムと日本の間の興味深い特徴を話したいと考えています。この発表を通じて、皆様はベトナムのことが好きになってくれたらいいと思います。

ベトナムと日本の両方が地図上で「S」字のような地理的な形状を持っています。ベトナムと日本はどちらでも国の横方向の幅が狭く、縦方向が長いです。また、2023年、ベトナムと日本は外交関係の確立から50年になります。

現在、日本に住むベトナム人のコミュニティの人数はどのくらいだと思いますか？ またベトナムに住む日本人のコミュニティの人数はいくつくらいですか？ 皆さんはこの情報をご存知でしょうか？ 答えは、現在日本に住むベトナム人コミュニティは50万人を超え、逆にベトナムに住む日本人コミュニティは2万3000人です。意外と多くてびっくりするほどです。

次は交通文化の特徴とその違いについて話したいと思います。日本ではご存知通り右側通行です。ベトナムは左側通行で運転席も左側です。日本人がベトナムに旅行に行くときは、これに対して困る人が多いと思います。運転の際には、慣れるまでは結構時間がかかると思います。私も日本にきたばかりのときはまだ車が持っていなかったのですが、自転車に乗るときは行き違いをしたことがあります。

ベトナムの交通といえば、バイクが多くて渋滞がひどいというイメージがあると思います。ベトナム人はほとんど通勤するときはバイクが一般的な移動手段です。バイクだと路上のレーンを気にせず走ることができるので、場合によって運転することが多いです。その結果、渋滞がひどくて、みんなもクラクションをよく使うので、渋滞のときは熱くてうるさいです。私の大学のときも、毎日の渋滞を体験するので、とても大変でした。ベトナムはもちろん車を持っている人もいますが、ほとんどお金持ちです。

一方では、日本では車の所有率が高く、バイクの所有者が少ないです。また、日本人はクラクションをあんまり使わず、ルールにしたがって運転するので、渋滞が発生しても、ベトナムほどひどくないです。日本では、道路を横断するときはルールがあると思います。車は横断しようとする人が見えたら、一時停止が義務だと思います。一方、ベトナムでは、車は横断しようとする人がいても、一時停止は絶対しないです。横断歩道がないところでも、ベトナム人が普通に横断し、横断しながら車とバイクがぶつからないように避けます。

そのため、ベトナムにいる外国人のための横断するトリックを紹介します。1つ目、歩行者は道路を横断する際に優先されないため、安全のためには必ず両方の方向をよく確認することが大切です。つぎは、ベトナムに旅行しに行く外国人が地元の人々と一緒に横断することが一

般的です。最後に、手を上げながら横断することも重要です。これは、車やバイクの運転手に自分の存在を知らせ、横断中であることを示す合図です。これらのトリックを実践することで、事故が起これないとい私が保証できませんが、安心感を持って横断することができると思います。

次は**国民的スポーツ**を話したいと思います。ベトナムと日本は、スポーツにおいても異なる特徴を持っています。日本では野球が非常に人気で、プロ野球リーグは多くのファンに支持されています。一方、ベトナムの国民スポーツはサッカーです。ほとんどベトナム人の男性はサッカーをプレーしたり観戦したりします。特に国内リーグや国際大会において、サッカーは熱狂的なサポーターを持っています。ベトナム人はカフェで集会して見知らぬ人と一緒にサッカーを観ます。また、ベトナム代表が勝利すると、サポーターたちは大通りを行進し、旗やバナーを持って歓喜の表現をすることが多いです。

次は**ゴミ分別や処理**を話したいと思います。

日本では、一般的に、ゴミの収集と処理について明確なスケジュールや図表が用意されています。ゴミ捨て場には、ゴミを正確に分別するための看板や具体的な指示があります。これにより、ゴミの収集と処理プロセスが効率的に行われ、環境保護が促進されています。

一方、ベトナムでは、全類のゴミの日常的な廃棄が頻繁に行われ、一部の場所ではゴミの分別システムが存在しないこともあります。これが、ゴミの効果的な処理を妨げる可能性があり、ゴミ管理の改善が必要です。このため、ベトナムでは、特に共有地域において、規則に従わずポイ捨て事例が依然として存在しています。一方、日本はポイ捨てがほとんどなくて、ごみの分別制度が明確にあります。

しかしながら、最近、ベトナムは廃棄物管理の改善に取り組んでいます。特に大都市地域では、コミュニティにごみの分別と厳格な処理手続きを実施するように要求し始めています。これは環境保護と景観に対する廃棄物の影響を最小限に抑えるための重要な取り組みの一部です。環境の面では、両国は持続可能な資源利用に焦点を当て、SDGs 基準を達成しようとしています。廃棄物管理の改善は、私たちの地球を保護するための共同の努力の一環です。

次は**文化の違い**について話したいと思います。日本は、集団主義の国で、チームワークやコミュニティがとても重要です。他人と同僚を手伝って、ともに前に進むことが多いです。

一方、ベトナムでは、個人主義が一般的なものです。ベトナム人はチームワークが苦手、自己成長を重視し、自分のことを目立つように取り組むことがよくあります。

大きい目標を達成するために、一人だと絶対できないので、チームとして動くことが重要ですが、自分の個性をアピールすることができないと、創造性といったアイデアなどを発揮することができません。集団主義や個人主義はどちらでも自分なりのメリットとデメリットがありますので、バランスすることがとても重要です。

次は、**食生活**について話したいと思います。日本の朝食の内容にはだいたい御飯、焼魚、みそ汁、卵など、さまざまな料理が含まれています。日本人は栄養のバランスを重視するので、家で家族と一緒に食べることが一般的です。

一方、ベトナム人の朝食は外食することが多いです。ベトナムの場合は、外食したほうが料理する手間がかからず、値段も安いからです。朝食内容はバインミー、フォーなどです。朝食の食べ方は異なることがありますが、一般的には迅速で、個人で食べることが一般的です。

次に、ベトナムなりの特別な光景について紹介したいと思います。1つ目は、ベトナムでのカフェの光景です。ほとんどのベトナム人は、仕事に備えて、コーヒーを飲んでから仕事をスタートすることが多いです。次は、露天商の姿です。露天商はベトナムのとても重要な文化で、ベトナムの経済に大きく貢献しています。つぎは、市場の光景です。最近市場よりスーパーのほうが多いですが、市場を選ぶ人もたくさんいます。なぜかという、市場の食材のほうが安いからです。



最後に、ストリートフード文化を忘れてはいけません。ベトナムでは、ストリートフードが非常に特色のある文化で、とても有名です。週末に友達を集めて一緒に食べることがとても楽しいです。

次は、日本で私が驚き、学んだことについて話したいと思います。

ひとつめは、**時間厳守の文化**です。その文化は、日常生活のさまざまな側面で明確に表れています。例えば、日本の公共交通機関、電車やバスなど、時間表に厳格に従い、時間通りに来るのが一般です。職場でも日常生活でも、遅刻することは、無礼で非専門的と見なされることがあります。会議のときでも早めに到着して準備をすることが一般的です。日本の文化における時間厳守の重要性が浮かび上がり、自身と他人の時間を尊重していることが分かります。自身だけではなく他人の時間を尊重していることがとても重要です。

次は、**日本人の並列文化**です。日本人が行儀よく列に並ぶことは、世界でもよく知られています。どこに行っても、よく見えるのは、日本人が自然に列を作ることです。高齢者から子供に至るまで、何かを買う時にはどこでも自然と列ができます。日本人は子供の頃から、「列に並ぶことはマナーとして必ず身につけるべき習慣」という教育を受けていると言われています。そのため、日本の子供たちの頭には「ちゃんと列に並ばなければならない」という概念ができあがって、行列の習慣はそうにして形成されています。

最後は、**日本人の歩く速さ**です。日本人の歩く速さは信じられないくらい早いです。私は日本人の友達と遊びに行ったときは、友達が速すぎて、私は走らないと追いつけられないくらいでした。なんで日本人はそんなに速く歩けるだろうとよく考えたら、日本人は子供の頃から体をよく運動して、ジョギングとかランニングをよくします。また、日本人は交通機関をよく使うからです。速く歩かないと次の乗り換え電車・バスの時間を間に合わないと考えられます。やはり速く歩いたほうが時間を稼ぐことができ、体にも良い影響をあたえます。いつか速く歩けるようになりたいと思います。